

未来に向けて考え続け、よりよい社会を切り拓く子供が育つ授業の創造

—児童一人一人がタブレットを活用し、主体的に学ぶ授業実践を通して—

那賀町立木頭小学校 教諭 佐藤 仁昭

1 主題について

徳島県小学校教育研究会社会部会の研究主題「未来に向けて考え続け、よりよい社会を切り拓く子供が育つ授業の創造」に迫るには、社会における特色や意味などについて、児童一人一人が資料集やタブレットを活用し、主体的に学ぶ授業が大切であると考えます。

本学級の子供たちは、様々な資料を活用し、学習課題の解決に向けて意欲的に取り組んでいる。しかし、適切な情報を選択できず、考えがまとめられなかったり、友達との意見交換の中で新たな気づきを見つけられなかったりする。そこで、本単元「気候条件と人々の暮らし」では、子供一人一人が資料集やタブレットを活用し、主体的に学ぶ授業の実現に向けて、子供一人一人が学習課題を把握しつつ、それぞれの調べている内容に応じて、タブレットを活用することにより、適切な資料を配ることができたり、調べた情報を共有したりすることができ、社会についての認識を高め、判断する力を育むことに効果的だと考え、次の本実践に取り組んだ。

2 研究の仮説

- (1) 授業の導入で、学習問題の再確認や予想を立てる場面を設定することによって、児童一人一人が見通しを持つことができ、主体的な学びにつながるだろう。
- (2) タブレットを用いて個に応じた資料を提示したり、調べたことをノートにもまとめたりする場面を設定することで、社会についての認識を育み、理解することにつながるだろう。
- (3) タブレットを用いて、収集した情報を比較したり交換したりするなど友達との意見交換の場面を設定することによって、新たな気づきを見出すことができ、社会に対する認識や判断する力を深めることにつながるだろう。

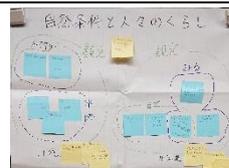
3 研究の実際

(1) 単元の目標

- 自然条件から見て特色ある地域の人々が、自然環境に適応して生活していることを理解するとともに、地図帳や統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 我が国の国土の自然環境の特色と国民生活との関連を多角的に考える力、考えたことを説明する力を養う。
- 我が国の国土の自然環境の特色と国民生活との関連について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情を養う。

(2) 展開の概要 (全12時間) …単元の学習問題 …本時の学習問題

段階	学習内容	児童の反応
問題をつかむ ①	①各所のパンフレットを見て、観光や特産品など調べたいことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・何で沖縄は、海に入れるのだろう。 ・同じ4月なのに服装が違うよ。 ・パンフレットで見つけたことをまとめると、観光や食べ物に分けられる。何か秘密があるのかな。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 気候や地形の特色と、人々の暮らしや産業にはどのような関係があるのだろう。 </div>		
予想を立て	○沖縄の観光や特産品など	・その地域で育てているものは何があるのだろう。



る・調べ方を決める①	について、詳しく調べるための計画を立てる。	・困ったことなどないのかな。
調べ確かめる④	課題への予想を立てさせてから、調べる。	・サンゴの海を見にきている。 ・風や暑さに強いものをたくさん育てているね。
なぜ、このような家のつくりなのだろうか		
	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の調べる内容に応じた情報を提示する。 ●タブレットで調べたことをノートに整理させながらまとめる。 ●調べたことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根にタンクを付けて、水不足に備えているね。 ・家の周りに石垣があるのは風を防ぐためなんだね。 ・暑さを和らげるために、戸を大きくしている。 
予想を立てる①	野辺山原での観光や特産品について、詳しく調べるための計画を立てる。	・沖縄のように気候を生かして何かしているのかも。
調べ確かめる③	野辺山原について、予想を立ててから、教科書、資料集、タブレットを用いて調べ、ノートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・酪農は、涼しい気候だからできる。 ・暑さに弱い野菜を育てている。 ・やっぱり冷たさを利用した野菜を育てていた。
みんなで考え話し合う①	自然条件と人々の暮らしの関わりについて、調べた情報をもとに、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらも気候の特色を生かして、農業や観光の工夫をしていたね。 ・木頭では、どんなことをしているのだろうか。
広げ深める①	木頭の人々の暮らしについて考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・気候の特色を生かして、柚子や杉を育てていた。 ・寒暖差が柚子を育てるのに適しているんだね。

4 研究のまとめ

(1) 成果

- ① 授業の導入において、学習問題の再確認や予想を立てる場面を設定したことで、児童一人一人が社会についての考えをもつことができ、見通しをもって主体的に学ぶことができていた。
- ② タブレットを活用して個に応じた資料を提示したことで調べた内容をノートにまとめたことで、社会についての特色や意味などの知識を増やし、理解することができた。その内容を踏まえて、考えを発表する姿も多く見られ、社会についての認識を深めることにつながった。
- ③ タブレットを用いて情報を共有する場面を設定したことで、個人で調べていたことを互いに共有しまとめることができ、社会についての認識をより深めることにつながった。

(2) 課題

- ① タブレットを活用し、児童の調べる内容に応じた資料の提示をしても、必要な情報を読み取ることが難しい児童がいた。そのような児童には、写真を提示するなど限られた資料の中から必要な情報を見つけ出すなどの配慮が必要であると考えた。
- ② タブレットを活用して調べることはできていたが、難しい語句が多くあり、正確に理解できているかという課題が見られた。難しい語句でも読めたり、解説が読めたりするキッズウェブサイトを活用するなどの配慮が必要である。
- ③ タブレットを用いて情報を共有する場では、自分の調べたことを読み上げるだけになってしまい、判断する力を深められていなかった。判断する力を深めるためには、思考の時間を十分にとるとともに、教師から考える視点などの声かけなどの工夫が大切であると考えた。